

社内の技術力向上と、新分野へのチャレンジを

— 林社長は電気めっきの分野で、さまざまな賞を受賞されておられます。特に昨年選ばれた「現代の名工」は、感慨深いものでしたね。

皆さまのおかげで栃木県の代表としてご推薦いただき、最年少（40歳）での受賞となりました。ありがとうございます。ものづくりに関しては国内最高の表彰ですから、野球で言えば名球会に入っただようなもので、大変にうれしく感じています。

— 電気めっき技術の難しさは、どのようなところでしょうか。

電気めっきは、お客さまからお

預かりした素材・部品に、主に「きれいに見せる」「サビ・劣化防止」「電気特性向上」といった目的で行なうものですが、現在では千分の一ミリ、すなわちミクロン単位での作業となります。めっきは厚過ぎては薄過ぎてはだめですから、機械の性能が高いと同時に、扱う人間の技術力も要求されます。私が技術向上に常に取り組んできたのも、そこにあります。

もちろん、私だけが技術向上してもダメです。社員にも、さまざまなコンクールに私と一緒に出るよう、はつばをかけています。

— 社長の技術力の高さが、会社の信頼につながるのでは？

— 社長の技術力の高さが、会社の信頼につながるのでは？

そういう面もあります。ですが、なかなかイコールでは見ていただけません。ですから、会社全体の技術力をどう底上げし、それをお客さまにどうアピールするかは、常に大きな課題です。

— 今後の夢は。

一つは、もちろん会社をもっと強くする事です。と同時に、

宇都宮市内で「ものづくり」や「商品開発」などに力を注ぐ「未来志向型企業」の経営者にご登場いただき、取り組みをお話しいただく本コーナー。第3回は、経営者自ら技術力向上に挑み、全国めっき技術コンクールで、研磨裝飾クロム、亜鉛、裝飾クロムの3部門で厚生労働大臣賞を受賞。昨年には「現代の名工」の称号を手にした宇都宮タマル工業株式会社の林直昭社長です。

宇都宮タマル工業株式会社 代表取締役社長 林直昭氏

Information



宇都宮タマル工業株式会社 本社社屋

宇都宮タマル工業株式会社
代表取締役社長 林 直昭
国の卓越技能者「現代の名工」
創業 / 大正5年(昭和50年 設立)
事業内容 /
各種電気めっき、ステンレス化学研磨、
パシベイト処理、回転バレル研磨、プラスト処理 など
住所 / 宇都宮市北一の沢町2-23
☎ 028-622-1791
☎ 028-622-1792

— カクテルシェイカーを作られたそうですね。

宇都宮カクテル倶楽部の支援と同時に、私どもの技術力のPRになればと考えて、お店から提供していただいたシェイカーに、金めっきをさせていただいています。おかげさまで好評とうかがっています。どんどん使っていただきたいですね。

同社の電気めっき技術で金めっきされたカクテルシェイカー。宇都宮カクテル倶楽部専用です。

